

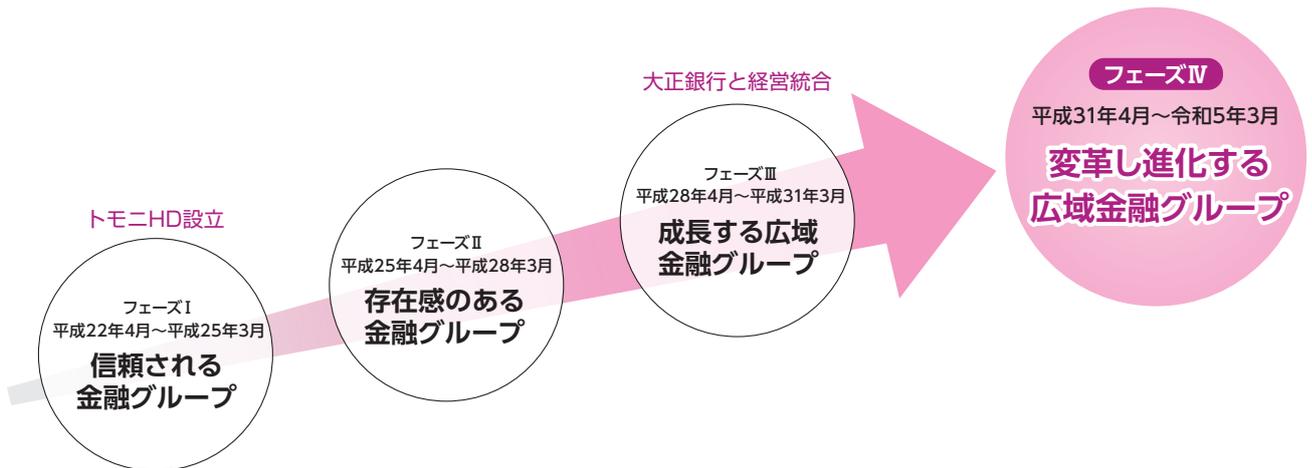
# 第4次経営計画 (平成31年4月～令和5年3月)

## 変革と進化への挑戦～変わる“トモニ”変わらぬ“ともに”～

### 第4次経営計画の概要

名 称	第4次経営計画『変革と進化への挑戦～変わる“トモニ” 変わらぬ“ともに”～』
計 画 期 間	平成31年4月～令和5年3月
目 指 す 姿	変革し進化する広域金融グループ
基 本 戦 略	I ガバナンス戦略 ～変革と進化～ II 営業戦略 ～お客さまとともに～ III エリア戦略・地方創生戦略 ～地域とともに～ IV 人財戦略 ～一人ひとりの“やる気”を“本気”に～

### 第4次経営計画の位置付け



### 目指す姿

#### 変革し進化する広域金融グループ

1. 「“ともに”協調しあって、地域のお客さまとともに、明日への発展を支えていく」という当社のブランドマークに託した設立当初からのビジョンに基づき、これまで築いてきた地域のお客さまとの信頼関係を変わず維持する一方で、時代の変化とともに今後も地域のお客さまとともに成長し続けられるよう、「地域商社的金融グループ」への脱皮を図るなど自ら積極的に変革していく。
2. 営業面では「複数行体制」、すなわち徳島大正銀行と香川銀行がそれぞれ取引の拡大・深化を図る一方で、組織運営面では「最大限のワンバンク化」を目指し、持株会社やグループ会社の機能を活用した更なる効率化を図るなど、「トモニスタイル」を進化させ、全体として利益の最大化を図っていく。
3. 組織がダイナミックに変革し進化していくために、社員の「やってみたい」という気持ち・チャレンジ精神を大事にする「自ら考え行動する企業集団」を目指していく。

## 第4次経営計画の目標に対する実績

第4次経営計画の3年目である令和3年度（令和4年3月期）においては、グループ銀行が連携して、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けたお客さまへの資金繰り支援を継続するとともに、人材紹介業務への参入、「地域とトモニファンド」を活用した出資、トモニmini商談会や起業創業・医業経営セミナーのオンライン開催等により、お客さまの成長支援による地域経済活性化への取組みを行いました。また、お客さまのSDGs宣言策定支援を行うサービスの取扱開始、トモニSDGs・ESGセミナーのオンライン開催等により、お客さまと協働して持続可能な社会の実現に向けた取組みを行いました。

また、第4次経営計画において、次の目標とする経営指標を掲げ、その実現に向け取り組んでおります。当計画の3年目である令和3年度の実績は、以下の通りであります。

目標とする経営指標		令和5年3月期	令和4年3月期
		目標	実績
(1)親会社株主に帰属する当期純利益(連結)	収益性	110億円	130億円
(2)本業利益(銀行子会社単体合算)	収益性	100億円	112億円
(3)ROE(連結)	効率性	5.0%以上	5.77%
(4)コア業務粗利益OHR(銀行子会社単体合算)	効率性	66.0%以下	63.34%
(5)自己資本比率(連結)	健全性	9.0%以上	8.84%
(6)貸出金残高(銀行子会社単体合算)	成長性	3兆円以上	3兆2,387億円
(7)大阪地区貸出金残高(銀行子会社単体合算)	成長性	1兆円以上	1兆397億円

(注) 1.本業利益＝貸出金平残×預貸利鞘＋役務取引等利益－経費

2.ROE＝親会社株主に帰属する当期純利益／((期首株主資本＋期末株主資本)×1/2)×100

3.大阪地区＝大阪府、兵庫県(除く淡路島地区)及び京都府